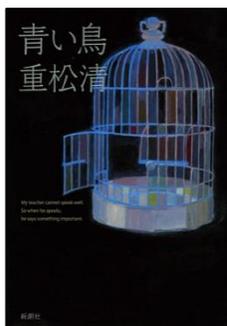


南高図書館だより

2024年6月号
浦和南高校図書館

図書委員のおすすめ本



『青い鳥』

重松清／著 新潮社

吃音症を患っている先生がいます。他の生徒からはバカにされていますが場面緘黙症の生徒、担任教師を刺してしまった生徒、父親が自殺してしまった生徒などのひとりぼっちの心に優しく寄り添い「たいせつなもの」を教えてください。心が温まる物語なので是非読んでみてください！

『名探偵のままでいて』

小西マサテル／著 宝島社

主人公である楓の祖父は幻視や、記憶障害の症状があるレビー小体型認知症を患っており、楓やヘルパーさん達の介護を受けながら生活している。そんな中、楓の周りに起こる色々な謎を祖父はどのように解決していくのか。その謎の真相は何なのか。とワクワクしながら読める物語です！ストーリーも面白く、推理シーンもかっこいいのでぜひ読んでみてください！



『オレたちバブル入組』

池井戸潤／著 文藝春秋(文春文庫)

『俺たちバブル入組』はあの大人気な「半沢直樹」シリーズの1作目です。主人公である半沢は、大手銀行に入行して、今は融資課長。支店長命令で無理に融資の承認を取り付けた会社が倒産した。全ての責任を押し付けられた半沢は、債権回収をするしかない。これから彼は様々な苦境に立ち向かっていく、そんな痛快小説です。また、この「半沢直樹」シリーズはあと4巻あるので興味を持った方はぜひ読んでみてください。

*「半沢直樹」シリーズの続刊は、『オレたち花のバブル組』、『ロスジェネの逆襲』、『銀翼のイカロス』、『半沢直樹アルルカンと道化師』です。全て南高図書館で借りることができます。

図書館からのお知らせ

図書委員研修交流会へ参加しました

6月14日(金)、浦和実業学園中学校高等学校の図書館で開催された、近隣7校(県立浦和、浦和一女、浦和東、浦和西、浦和実業、市立浦和、浦和南)の図書委員が集まる図書委員研修交流会へ、本校からも図書委員3名が参加してきました。



今回のメインイベントは、「図書館たほいや」。

「図書館たほいや」とは、図書館にある様々な辞書・辞典類を使って楽しむ言葉遊びゲームです。

プレイヤーは親と親以外のメンバーに分かれ、親は誰も知らないような言葉を辞書から選んで発表し、親以外のメンバーはお題となった言葉の意味を、いかにも出典の辞書に載っているような文章で作り上げ、親に渡します。

全員分揃ったら、親は全員の作った文章と正解を混ぜて順不同で読み上げ、親以外のメンバーはどれが本当の意味か当てていきます。

正解以外にも「それっぽい」回答が続出し、正解が発表されると「そっち？」と驚きの声がかかることも。

誰も知らないお題を探すなかで紙の辞書・辞典の持つ魅力に気づき、普段よりも言葉について深く考えることのできる機会となりました。

あなたも挑戦！「図書館たほいや」クイズ ～次のお題の正解は？～

お題【ていりっひ】 出典：『広辞苑 第7版』

- 1, ネジレバネ目の昆虫の雌。寄生した昆虫の体内で一生涯を終える。
- 2, 12世紀に英国で活躍した小説家。代表作は『オリーブの木』。1117-1192。
- 3, 1824-1872。オーストリアの作曲家。合唱曲を多く手掛けた。
- 4, ドイツ生れのプロテスタント神学者。アメリカに帰化。
- 5, 沖縄の方言。暑い日のこと。
- 6, 定理の日が変化した言葉。

正解以外は素人が考えた嘘の答えです。どれが正解かわかりますか？ 正解は次頁にあります➡



知識の本

平安ものことひと事典 TRADITION FASHION FOODS COURTESY EVENT HABIT?

砂崎良／著 承香院／監修 鈴木衣津子／絵 朝日新聞出版

平安貴族の文化のハイレベルさに目がいきがちな平安時代。ゴージャスな生活をしていたと思いきや、貴族でも日々の生活は粗末なものでした。着替えは稀でノミに悩み、部屋には雨風が吹き込む。そんな時代の「ものことひと」を知れば知るほど、平安文学の魅力も倍増するかも。合間のイラストもかわいく、コラムや関連する文学紹介で更に詳しく平安びとを知ることができます。

中高生のための「探究学習」入門 テーマ探しから評価まで

中田亨／著 光文社

『探究学習』とは、自分で謎を見つけ、それを自分で解くこと。探求はなるべく早く経験するべきだ、自分のやりたいこと、向いていることがよくわかるから。下手でも気にせずやってみよう、と著者は考えて、探究学習のテーマの見つけ方から調査方法、成果の発表の仕方、倫理的な注意点まで、具体的な手はずをガイドする本を書いた。探求活動を支援する先生にもおすすめです。

夢を叶えるために脳はある「私という現象」、高校生と脳を語り尽くす

池谷裕二／著 講談社

「脳は何%使われているか」「心と脳は同じか違うか」「なぜ人を殺してはいけないのか」…。私たちが脳について考えるとき、脳で考え、脳を深堀りしていく。自分の脳から解放され、自由に思考することは可能なのか？ 脳についての最新研究成果を盛り込んだ高校生への特別講義。

グミがわかればヒットの法則がわかる

白鳥和生／著 プレジデント社

コンビニやスーパーの棚にずらりと並ぶグミ。2021年、グミはガムの市場規模を上回り、人口減少のなか売上を伸ばしている。各種調査と取材を通じてヒットの法則の謎を解き明かす。

大阪偕星学園キムチ部 素人高校生が漬物で全国制覇した成長の記録

長谷川晶一／著 KADOKAWA

創部1年目にして「漬物グランプリ2023」で優勝した、大阪偕星学園高校キムチ部。全ては理事長の、新ブランド「偕星キムチ」を作るんだ！という思いつきから始まった。高校で変わりたいたと願う生徒が部長となり、地元コリアタウンと交流しながらオリジナルキムチ作りに奮闘する。

インティマシー・コーディネーター 正義の味方じゃないけれど

西山ももこ／著 論創社

世界的にも歴史の浅い職業「インティマシー・コーディネーター」。出演する側と制作する側のあいだに入り、おもに映画やドラマの性的シーンの内容について調整する。日本でこの職種名を掲げている二名のうちの一名である著者が、仕事について、現場の抱える課題について述べる。

日本男子バレー勇者たちの軌跡

田中タ子／著 文藝春秋

日本男子バレーは「弱い」と言われ続けてきた。しかし今、日本代表は「強い」。強くなった理由のひとつに、指揮官の掲げるプランを体現できる役者が揃ったことが挙げられる。各選手を高校時代から取材してきたライターによる、今ここに集った彼らの、これまでのストーリー。

小説・文学

spring

恩田陸／著 筑摩書房

萬春(よろず・はる)は美しい子どもだった。8歳でバレエに出会い、15歳で海外へ。舞踏家であり振付家の春は、様々な才能や情熱を持つ人と交差しながら、自分の作品を作り上げていく。物語ラストの彼自身が自らの振り付けで躍る「春の祭典」は、文章から音楽や踊り手の息遣いが聞こえてくるよう。出てくる人物すべてが美しく魅力的。バレエを知らない人でも楽しめます。

レーエンデ国物語〔4〕夜明け前

多崎礼／著 講談社

全5巻で今年完結することが予告されているシリーズの第4作。レーエンデという土地をめぐる革命の物語。夜明け前は一層暗くなる、今は一番暗いとき。ひとつの国の歴史をシリーズでたどりながら、毎回違う顔を見せてくる「レーエンデ国物語」。第4作目は異母兄妹の愛を巡る物語。後世、兄は英雄、妹は稀代の悪女と評された兄妹の、真実の姿とは。

あいにくあんたのためじゃない

柚木麻子／著 新潮社

過去のブログ記事が原因で炎上中のラーメン評論家。差別と偏見と思い込みによる店員や客についてのコメントで炎上した彼は、原因となったラーメン店主に謝罪したいと考える。しかしそのラーメン店で待ち構えていたものは(「めんや 評論家おことわり」)。容赦しない展開で、ほっこりとは程遠い内容ながら、読後感がとても良い短編集。「めんや」だけでも読んでみて！

👑 ビブリアバトルを開催しました

6月10日(月)放課後、3年次図書委員がビブリアバトルを行いました。

ビブリアバトルとは「知的書評合戦」ともいわれる、本の紹介ゲームです。参加者(バトラー)が制限時間内に好きな本を紹介し、その後の投票で一番読みたいと思った人が多い本が「チャンプ本」となります。

今回は、4人前後の班に分かれて班ごとにお互い本の紹介を行いました。その後、各班のチャンプ本が次のとおり決まりました。

『青い鳥』重松清／著 新潮社

『ソードアート・オンライン』川原礫／著 アスキー・メディアワークス

『かがみの孤城』辻村深月／著 ポプラ社

『君に叶わぬ恋をしている』道具小路／著 KADOKAWA

